

この「弘済会そくほう」は、学校担当がお届けしました。

教職員・弘済会会員の皆様

弘済会そくほう



平成29年9月号

公益財団法人
日本教育公務員弘済会
岐阜支部

(公財)日教弘は 教育振興に貢献

(公財)日教弘は **全国 60万人 岐阜県 1万人** の

会員の皆様に支えられ教育振興に取り組んでいます。

ジブラルタ生命(株)と提携して進めている

「共済事業(提携保険事業)ー教職員のための教弘保険」の普及推進は、

教育の振興と教職員の福祉向上に多大な貢献をしています。



退職予定者セミナーのお知らせ

年金支給開始年齢が
遅くなりつつある時代

開催予定日等の一覧

退職後の生活設計は

大きな課題！！

(公財)日教弘岐阜支部と
ジブラルタ生命保険(株)は、

今年度も退職予定者の皆様を対象
にセミナーを開催



地区	期日・開始時刻(予定)	会場名(予定)
岐阜	12月 2日(土) 10時	OKBふれあい会館
大垣	10月 7日(土) 10時	ソフトピア ジャパンセンター10F
	10月 7日(土) 14時	
	11月26日(日) 10時	
	11月26日(日) 14時	
美濃	11月11日(土) 10時	アピセ関
	1月20日(土) 10時	
可茂	11月11日(土) 14時	みのかも文化の森
	1月20日(土) 14時	美濃加茂市生涯学習センター
東濃	12月16日(土) 10時	バロー文化ホール
	12月16日(土) 14時	東美濃ふれあいセンター
	2月17日(土) 10時	バロー文化ホール
飛騨	12月10日(日) 10時	高山市文化会館
	12月10日(日) 14時	下呂星雲会館
	2月10日(土) 10時	高山市文化会館
	2月10日(土) 14時	下呂星雲会館

今後、会場等が変更になる場合があります。

定員に限りがありますので、事前に必ず「学校担当」に申し込み願います。

ご夫婦での参加、来年度以降に退職予定の方の参加も大歓迎！詳しくは学校担当にお尋ねください。

共済事業(提携保険事業)提携保険会社(ジブラルタ生命保険(株))各営業所電話番号

岐阜 1・2 (058-267-6006) 大垣 (0584-83-4500) 関 (0575-22-3793)

美濃加茂 (0574-25-3658) 多治見 (0572-21-3732) 中津川 (0573-65-3517) 高山 (0577-32-1623)



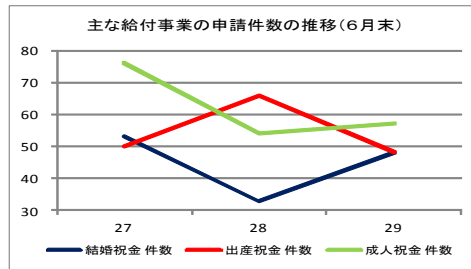
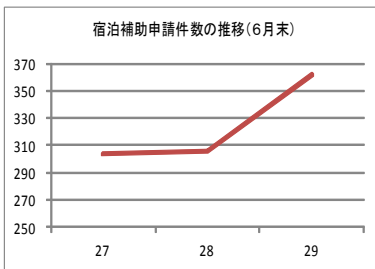
岐阜支部の宿泊補助対象施設(Aホテル)に宿泊の予約を入れ、「弘済会の補助券を使って宿泊したい」と伝えましたが、「補助券は使用できない」と言われました。今年度から対象ではなくなったのでしょうか。

いつもご利用ありがとうございます。本年度の指定先については、「ぎふ弘済会ガイドブック」や「弘済会そくほう」等でお知らせをしていますが、ご連絡をいただきましたホテルにつきましても、これまでと同様に対象施設となっております。今回、どのような経緯で対応させていただいた方が勘違いをされたのか不明ですが、次のようなことが原因ではないかと考えます。

- たまたま手続き等に不案内な方が予約電話を受けられた可能性があります。こうした場合には、事情を説明していただいてもご理解いただけないようでしたら、岐阜支部までご連絡いただきますようお願いいたします。改めて岐阜支部から連絡をさせていただきます。
- 対象施設では、(公財)日教弘岐阜支部以外の団体とも提携している場合があります。そのような場合、「弘済会の補助券を使用したい」と略して伝えられると、ご理解いただけない可能性があります。「日本教育公務員弘済会岐阜支部の宿泊補助券を使用したい」とお伝えください。

宿泊補助券の利用が増えています

宿泊補助・結婚祝金・出産祝金・成人祝金の過去3年間の申請件数



ご利用ありがとうございます。
各種祝金の申請は1年以内
にお願いします。



弘済会の猪の独り言(9)

教員六年目のことだ。私が勤務していた学校にN先生が赴任され、二年生を担任されることになった。暫くして「N先生が学級経営に苦しんでおられる」という噂が聞こえてきた。N先生の教室は中舎の二階にあり、私の学級の廊下から様子を見ることができた。二期のある日、部活指導が終わった午後七時頃、忘れ物に気付いて教室に行った。するとN先生の教室に電気が点いていて、N先生が教室の掃除をしておられる姿が目に入った。その当時は、多くの担任が生徒指導に苦しみ、今のように係や組織が機能して放課後の教室が整えられるような状況にはなかった。私の学級も例外ではなかった。その後も気を付けてみると、N先生は、毎日、それを続けておられた。

それまでの私はどうかと言えば、「生徒が悪い」「係が動かない」と不平不満を溜めるだけで、自分が動いて教室を美しくしようなどという発想すらなかった。N先生に触発されて、私も放課後の教室整備を始めた。部活指導が終わって、生徒もいなくなった時間に「教室を掃き、机列を整え、黒板を美しくする」。たまたそれだけのことだが、それがその時の自分にできること、一生懸命な生徒へのせめてもの気持ちとしてやり続けた。しかし、そのことで私の学級の状態が好転することはなかった。一方で、N先生の学級は、三期に入り変化の様相を示し始めたことに気付いた。私とN先生のとこに違いがあるのか、当時の私には分からなかった。ただ一つ思ったことは、「形だけを真似てもだめだ」ということだ。生徒たちは、彼らの前に立つ教員の生き方そのものを見ている。「形」の裏にある自身の「生き方」そのものが変わらない限りだめだということだ。

N先生は、その後、三年生に持ち上がり素晴らしい学級を作り上げられた。先生の人柄、生き方を、今でも私は尊敬している。